

令和4年度当初予算への要望

【地域要望】

令和3年8月18日

豊田市議会自民クラブ議員団

○豊田市議会自民クラブ議員団 令和4年度当初予算への要望一覧

【挙母地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	逢妻	市道：本地柿本線の拡張延長/柿本町. 本地町	当該市道、柿本町2丁目交差点から県道宮上知立線までの区間で、見通しが悪く、道幅が急減少する区間があり、さらに大規模住宅地建設により、交通量が増加しているため、早期の拡張を要望する。
2	継続	逢妻	市道豊田西部線のみよし市との早期開通	みよし市三好ヶ丘から豊田市内への進入道路である市道福谷一色線は、交通量も多く幅員も狭く、小中高校生の通学路として、大変危険である。南バイパス工事が進む中で、バイパスと交差する、「市道豊田西部線」久岡町～三好ヶ丘間の早期事業化を求める。
3	新規	逢妻	南バイパス開通による通学路整備	現在、南バイパス工事が進められているが、開通により、地区内の小中学生約3,000名の通学路が変更になったり、通過車両の交通量の増減が予想される。現在、自治区役員・学校関係者・市担当課と、予想される危険箇所抽出を行っている。バイパス開通による通学路の安全対策を求める。
4	新規	逢妻	宮上公園の整備	宮上公園は、多目的グラウンドやマレットゴルフ場、幼児広場などがあり、約2000世帯の区民が使用している。マレットゴルフ場は、区民で組織している管理組合で維持管理を行っている。しかし、駐車場不足、震災の際の避難経路の未整備などの課題があり、市と地域の共働のモデル公園を目指して更なる整備が必要である。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
5	新規	逢妻	宮口上・宮口新田地区の排水路整備	丸根町～宮町間の市道一色三軒家線・県道宮上知立線の沿線と道路西側は、大雨による通過車両の冠水や民家の浸水が予想される。早期の対策が必要である。
6	継続	逢妻	東新町3丁目の排水路整備	大雨の度に、雨水が歩道に溢れ、通学の児童は池のようになった道路を登校し、付近の個人宅にも雨水が進入し、住民自ら土嚢を組み対応しているのが常態化している。早期の対策が必要である。
7	継続	朝日丘	市道青木新生線の道路拡張	市道青木新生線（枝下用水～小坂若林線の約270m区間）は狭隘な道路であり、南側の農地とは3～4mの高低差がある。交通量も多いが車両のすれ違いができず、歩道も設置されていないことから自転車・歩行者との接触事故も懸念されるため、安全な通行空間の確保に向けた道路整備を要望する。 また、当該区間の全線整備に期間を要する場合は、暫定的な対応として、南側に待避スペースの設置を要望する。
8	継続	朝日丘	小川町4丁目北側と豊田ダンボール倉庫東側間の狭小道路改修	乗用車1台分の余地しかなく、自転車とのすれ違いもできず、接触事故も起きている。緊急車両も通行困難であるため、道路拡張を要望する。
9	継続	朝日丘	通称「金下道路」の道路狭小の解消	金下道路は急激に道路幅が狭く、S字形である。生活道路や抜け道として近年車両増加の傾向である。安全確保の観点から拡幅を要望する。
10	継続	朝日丘	県道豊田東郷線「小坂本町1丁目西」交差点から「宮上町8丁目」交差点間整備	豊田南バイパスの供用開始後、更なる交通量の増加が予測されると思われる。県道豊田東郷線（都市計画東郷豊田）は幅員約10mと狭く現在大型車両のすれ違いが難しく対面車同士の事故も発生するなど車道歩道ともに通行において非常に危険な状態であり早期の道路拡幅工事を要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
11	継続	朝日丘	市道小坂三軒2号線改良の早期事業化	市道小坂三軒2号線は衣丘小学校北西角から市道三軒家八ツ迫線までの区間で挙母揚水跡地である。当地域は朝夕近隣道路から多数の通り抜け車両があり危険性が高い。小中学生の通学路の安全性確保のため早期の事業化が望まれる。幅員確保ができず市道開設が困難となった場合は自転車歩行者専用道として整備をすることを要望する。
12	新規	朝日丘	小坂町15丁目地内の市道設置	市民文化会館西の小坂町14丁目及び15丁目地内は、本年度分譲住宅数十戸、分譲マンション1棟、アパート数棟が建設されており交通量の大幅な増加や地元の狭隘な道路による交通事故発生等が懸念されている。そこで道路拡幅・整備に向けた道路計画を要望する。
13	継続	朝日丘	新生公園の早期整備・樹木公園の整備	新生公園は、第1次避難地に指定され広域避難機能と共に、スポーツ施設としての住区基幹公園である。近隣する樹木公園を含め整備を望む。地域の拠点となる避難場所・スポーツ施設機能の充実を要望する。
14	継続	朝日丘	毘森公園整備	毘森公園は市街地中心部に位置する貴重な総合公園であるが開設70年近く経過し公園設備の老朽化が進むなか抜本的な公園の再整備が望まれている。①毘森公園の再整備の在り方を検討するための予算確保。②現状対策として早急に歩道・車道の修繕、枝下用水周辺の安全対策を要望する。
15	継続	朝日丘	逢妻男川護岸部分擁壁修復	逢妻男川源流点付近及び源流点東側排水路について護岸擁壁の老朽化が著しく昨年一部破損もした。当河川は地域の雨水の受け皿となっている。近年多発する豪雨災害や発生が危惧される大規模地震など地域住民の大きな不安材料となっている。擁壁部分の早期抜本的改修工事を要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
16	継続	朝日丘	地域における移動手段の確保	小川・細谷・朝日丘地区は、急激に高齢化が進み、生活の足としてバス・タクシー等の活用で、文化ゾーン・駅をつなぐ公共交通を要望する。
17	継続	梅坪台	上豊田駅周辺インフラ整備総合計画の策定	上豊田駅周辺は第8次総合計画において、居住誘導拠点に位置付けられ、都) 浄水駅北通り線・都) 西山上挙母線4車線化、豊田北バイパス工事、駅周辺まちづくり事業による面整備など多くの事業計画がされ、また名鉄豊田線上豊田駅を含む整備が検討されている。道路整備や排水計画など上豊田駅周辺まちづくり事業の総合的な計画の策定を要望する。
18	新規	梅坪台	籠川洪水氾濫等に対応した河川整備と整備後の対応	近年多発する豪雨災害を踏まえ籠川流域においては、樹木繁茂・土砂堆積等による流下阻害によって洪水氾濫による著しい被害の発生に備え、矢作川合流点から伊保川合流点区間において整備が完了している。今後、整備の効果を持続していくための対応が必要となっており、地域と連携した環境整備や河川敷の有効活用などの対策を推進していくことを要望する。
19	継続	梅坪台	枝下用水幹線水路耐震工事に伴う周辺整備	枝下用水幹線水路沿線は、枝下緑地の都市計画決定を受けており、未整備区間に加え用水により地域が東西に分断されており、生活環境や地域コミュニティーに与える影響が大きいため水路工事に合わせた、小中学校の通学路、災害時における避難所への通路の確保など、周辺整備を要望する。
20	継続	崇化館	中心市街地活気ある事業所対策	新型コロナウイルスなどにより、来街者や来客減少が続く中、事業者では厳しい時代を乗り越えて健全な経営努力をしている。今後、コロナ禍の沈静化を見据えても、数年にわたる非常事態協力は個店の体力低下は必至であり今後の支援策を請う。また、高齢化・後継者不足と重なり、空き店舗増加の懸念が有り景観・衛生・治安低下など誘発を是正する意味でも更なる商業活性化プランなどの活用を要望する。
21	継続	崇化館	豊田市駅東口及び西口拠点施設の整備	豊田市駅周辺は、様々な集客施設が有り、多くの人達の笑顔や楽しい会話が聞こえる。賑わいや魅力的な空間が広がる広場を含む駅東口整備は集客力、滞在時間や癒しのオアシス空間としての意義が有り、多様な活用が生まれることが、期待される。加えて、西口でのバスターミナルやペDESTリアンデッキ等の再整備の工夫により、豊田市の独自性を生じた新たな、都市空間の創出を要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
22	継続	崇化館	名鉄豊田市駅舎の改修整備	豊田市駅舎は1986年に開設され、朝夕時の混雑は大変厳しく、特に各種イベント、祭りやスポーツ開催時は階段等に乗降客が溢れ、大変危険な現在であるため、北改札口の新設等人の流れの安全円滑化の促進。また、2026年アジア大会、2027年リニア中央新幹線の開業を見据え、駅利用者の利便性向上及び本市42万都市玄関口としての顔にふさわしい駅舎改修整備を要望する。
23	新規	崇化館	駅前総合観光拠点施設の新設	これからの観光交流事業は、多くの産業に波及効果や雇用効果等を創出する産業である。本市の観光資源は誇るべく極めて豊富であり、観光振興を通じ地域経済の活性化に寄与する。観光地・土産・イベント宿泊所幹旋・飲食店情報等を考慮すると、現ウエルカムセンターN6では手狭で有り、情報発信の限界等考えられ、新に豊田市駅前に貢献できるシステムの総合観光案内所の設置を要望する。
24	新規	崇化館	災害時での被害者及び規約困難者緊急避難対応	近年、気象異常や温暖化などでの大雨災害の懸念が高くなり、中心市街地は全て冠水の恐れがある。一時避難場所を考慮した場合、被害者及び帰宅困難者等がどの様に避難するかは行政・立体駐車場・商業施設・コミュニティを始め自治区や商店街等の協定での救済に当たり、災害に強く対応できる組織連携を構築して整備や備蓄など対応を要望する。
25	継続	豊南	安永川改修事業に伴う公園整備等	安永川改修事業は、国県市事業であり、市街地の排水を一手に受ける河川事業である。この事業が完成すれば、地域の環境は大きく変わり、交通渋滞や違法駐車などが予想される。こうしたことを解消するため、明治用水と新安永川の区切られた区域を公園等に整備することによって、より安全安心な環境の整備を要望する。

【高橋地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
26	継続	高橋	県道則定線・高橋1号線から高橋2丁目交差点～内・外環状線までの4車線化	現在の寺部区画整理事業に伴い、県道則定線の4車線化が進んでいる。要望課題とされている4車線化は高橋1号線までとなっており、その先の高橋2丁目交差点までの約210m、内環状線～外環状線までの4車線化の計画に伴いまちづくりの観点から寺部区画整理事業の完成予定時には4車線道路計画の目途をつけていただくよう要望する。
27	継続	高橋	県道487号線・中金～古瀬間線の拡充（県道松平志賀中金線拡幅）	矢並線～山中町間の県道487号線の一部道路舗装整備は、平成28年度から進んでいるが未実施の道路整備補修を要望。矢並線～山中町間の通学路確保と車両交通事故防止のため、道路拡幅・拡充を計画的な方向性を作成していただき要望する。
28	継続	高橋	平井小学校体育館を緊急避難場所及び避難所指定可能とする整備と関連する市道百々線の延伸に伴う消防団詰所土地の確保	平井小学校体育館は体育館北側の土砂災害警戒区域指定されているため、緊急避難場所及び避難所指定がされておらず、災害時には体育館の使用ができない状況である。本来なら愛知県が整備を進めなければならないが愛知県の整備条件から外れているため、豊田市として整備を進め土砂災害区域指定を外し避難所指定にすることを要望する。令和元年10月7日に鈴木雅博県議会議員と共に同行、愛知県からの回答を説明済。同日、高橋区長会（15自治区）として要望書を提出（建設部・教育部・防災対策課が同席）。また、土砂災害区域となっている急傾斜地は現在道路延伸が計画されている市道岩滝～百々線の道路法面であり、通学路の安全確保の面からも道路延伸事業と連携した早期整備に併わせて平井町・百々町地区の消防団詰所土地の確保を要望。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
29	継続	高橋	県道則定線と市道高橋1号線への接道へ信号機交差点設置の確定	高橋の架替え・寺部区画整理事業に伴い高橋2丁目交差点手前から県道則定線が令和3年度から4車線が計画されているが、中央分離帯が設置される事で高橋自治区の住民が分断されてしまうため、市道高橋1号線と県道則定線との接道へ信号機交差点の設置を強く要望する。平成14年から始まった住民説明会からも強く要望され、その上で区画整理事業に同意している。現在の市道高橋1号線はそのために拡張をした経緯も有る。現在は暫定的な交差点となっているが、区画整理事業が終わる令和4年度までには設置確定を要望。 自民クラブ地域要望としては昨年に引続き継続要望であり、令和2年7月27日に八木哲也代議士・鈴木雅博県議会議員・岩田淳市議とで愛知県警察本部・交通部長石川智之警視長へ請願書として提出済のため、その後の対応及び回答を要望。回答次第では今年度も愛知県警察本部へ国・県・市議で陳情へ出向く予定。
30	新規	高橋	高橋地区内の土砂災害警戒区域内に居住する方々の防災集団移転促進事業の実施と池田・岩滝地区内の地縁団体土地の有効利用	国においては令和3年5月の改正法律において、土砂災害区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律及び都市計画法・防災のための集団移転促進事業に係る国の財政上の特別措置等に関する法案が決定した。本法案及び国の補助金(約94%)を活用し、事前に自然災害を防止する防災集団移転促進事業(5戸以上)を高橋地区内で事業化(モデル的)を促進することを要望。(一定の地主の理解も既に得ている) 既に高橋地区内の対象関連自治区(百々町・手呂・池田・岩滝自治区)では協議会が発足し、令和2年度には企画政策部へ要望しており、地縁団体の土地は更地にする工事が既に進められているため、跡地の有効利用を要望する。
31	継続	益富	国道301号線整備(益富拡幅)	2021年に事業着手し総事業費30億円の事業概要が発表され、今後主要道路である国道301号線4車線化の早期完成を要望する。(泉町2丁目交差点～松平橋まで)
32	新規	益富	志賀郷中線の交差点改良	志賀中郷線と上野大見線のT字路の交差点では、鋭角に接続しているため、事故が多発している。また、近くに古瀬間小学校があり、通学路になっている地域の生活道路だが、朝夕の交通量も増加している。交差点改良を含めて整備を要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
33	継続	益富	古瀬間墓地公園線のT字路の交差点改良と信号機の新設	古瀬間町に益富包括支援センターが完成した後、交通量が増加し、歩行者を含めた安全対策が必要になっている。今後も交通量が一段と増加傾向にあるため、交差点改良を含め信号機の新設を要望する。
34	継続	益富	上野大見線の歩道の拡幅整備	小学生や自転車での高校生の通学路になっているが、交通量が多い路線にもかかわらず、歩道が狭くガードレールも事故により変形している。子供の安全な通学路を確保するため歩道の拡幅整備を要望する。
35	新規	益富	五ヶ丘地区の遊歩道整備	五ヶ丘には生活道路を走る車との接触が極力無い様に遊歩道整備がされているが、五ヶ丘団地が完成してから35年が経過し、遊歩道に亀裂やひび割れ、根上り等が多くみられるようになった。遊歩道を歩く市民も高齢化が進んでいる地域であり、安全に散歩ができるように遊歩道整備を要望する。五ヶ丘公園内も含む。
36	継続	美里	県道細川豊田線の拡幅・改修	令和3年度要望に対し、用地取得が進められ、危険性・緊急性の高い箇所について早期整備の働きをしていく答弁があり。今後、鶉の首開削事業もスタートするため、更に工事車両等が増加することが懸念される。早期に道路拡幅と歩道新設を含めた拡幅・改修の整備を要望する。
37	継続	美里	市道御立野見1号線の拡幅・歩道整備	高橋細谷線の4車線化整備に伴い交通量が増加傾向にある中で、豊田東高校の生徒が多く通学に使用している、市道御立野見1号線の拡幅・歩道整備の早期完成を要望する。
38	新規	美里	小平田河原線交差点改良と歩道設置の整備	小平田河原線と広川森1号線の交差点は、中央線がずれているため、車で走行中に一瞬危険を感じる。また歩道も片側のため、豊田スタジアムと一体になった歩道整備を要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
39	新規	美里	第2期中央公園整備	都市計画決定が令和2年度に決定し農振除外も行われた。令和3年度には民間活力のサウンディング等整備に向けて進められている。今後は第2期中央公園全体の早期用地買収を要望する。
40	新規	美里	東部1号線から高上東山線のバリアフリー化整備	東部1号線から高上東山線の歩道は、浸水性の高い舗装の箇所があり表面の劣化が進んでいる。道路面との段差もあり、カーブが続くエリアでは、歩行者が歩行するのに転倒しやすく、危険がある。道路面との段差を解消し、安全に歩行できるバリアフリー化整備を要望する。

【上郷地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
41	継続	上郷	市道広美柵塚線の整備／柵塚東町	①拡幅整備及び、市道のT字交差点の改良をすること。 ②市道広美柵塚線と市道東柵塚郷東線を結ぶこと。 ③市道東柵塚東線を柳川瀬公園内道路と結ぶこと。
42	継続	上郷	柳川瀬公園体育館改修	①体育館の改修 ②駐車場の整備 ③全体施設の再見直し
43	継続	上郷	広美町の三連水車の早期修繕	上郷地区のシンボルである「三連水車」は、子どもたちそして地域の憩い場として、利用されている。故障から、2,3年経過し、本来の姿を待ち望んでいる。修繕を早急に要望する。
44	継続	上郷	柵塚西町自治区公園の建設／柵塚西町	1100世帯、3200人の自治区に遊具のある公園が1箇所しかない。子どもたちの遊べる場所や地域の人たちの憩いの場所と大災害時の避難場所となる公園の建設を要望する。
45	継続	上郷	家下川の堤防の散策と上郷藪間公園との整備	家下川の藪間公園沿いで地元有志により蛍が最近飛び交う。子どもたちが水に触れるように整備を要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
46	継続	上郷	愛環北野柵塚駅周辺整備	①駅ロータリーの設置 ②駐車場整備 ③駅周辺の道路整備 ④宅地開発（一期工事は実施済み。2期工事に向けて）
47	継続	上郷	愛知環状鉄道の「三河上郷駅」のロータリー内の駐車場の整備と駅構内のエレベーター設置	「三河上郷駅」の駅前の駐車場が自由に無料で使用できるため、すぐ満車になり、困っている。有料または、駐車場を降車場として整備を要望する。
48	新規	上郷	地区内の交通事故防止対策	①上郷柳川瀬排水機工事に伴う通行止め（矢作川堤防）地区内の交通事故防止対策 ②小・中学校の通学路の事故防止
49	継続	上郷	豊田市南部工業団地早期実現（福受地区）	地元アンケート調査も終わり、地元、地権者の熱意が年々高まっている。進出希望企業と調整し、早期に地権者と交渉を切に希望する。
50	継続	末野原	県道本地鷺鴨線大林町12丁目交差点の建物撤去	県道本地鷺鴨線大林町12丁目交差点に屋台の店舗が4軒あり、営業を行っている形跡がなく、建物も老朽化し、防犯上・防火上そして環境的にも問題がある。特定空家等に該当するか調査をするとともに、土地の管理者である愛知県に対し早期撤去を市からも強く要望すること。
51	継続	末野原	豊田市挙母南部地区に体育館の建設（末野原地区他）	豊田市挙母南部地区（豊南・末野原・竜神）には多くの市民が在住し、その住民の「するスポーツ」を支えるためにも、当地区に地域型スポーツ施設の整備として地域体育館の建設を要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
52	継続	末野原	三河豊田駅前広場の改修	現在、愛知環状鉄道駅の三河豊田駅の駅前広場には噴水が設置されているが、年間を通して水は流されてなく、また多くの樹木があり、駅前広場としての機能を阻害している。また、地元住民による「三河豊田駅駅前広場再生協議会」も設立され、交通結節点機能を高める駅前広場に全面改修を要望する。
53	継続	末野原	永覚町の愛環永覚駅周辺一帯の土地利用整備推進（周辺開発・道路・通学路の一帯整備）	永覚駅の駅ロータリー設置・駐車場整備（駐車場追加）・駅周辺道路整備（駅南側道路は狭くて暗くて危険）・宅地開発などによる利便性向上及び、平子地区の児童の通学路・生活道路において平子橋北側の明治用水沿いの道路拡幅対策などの早急な安全対策等。開発や道路新設も考慮した周辺一帯の土地利用整備を要望する。
54	継続	末野原	渡刈町内の宝蔵川周辺の法面・護岸拡幅等工事による住宅地・田畑等の早急な浸水防止対策他	渡刈町地内の宝蔵川周辺の急斜面法面の草刈り対策及び集中豪雨時の住宅地・田畑等の早急な浸水防止の護岸拡幅等工事の実施。
55	継続	末野原	家下川の川幅拡張等による、集中豪雨時の住宅地・田畑等の早急な浸水防止対策	家下川と明治用水の交差する部分は川幅が狭く、集中豪雨時には、排水できず上流の住宅地・田畑等の浸水が予想されるため、拡張工事等の早急な浸水防止対策を要望。
56	継続	末野原	鴛鴦町上大岨（県道本地鴛鴦線沿い）の家下川に蓋等の対策をして暗渠化による通学路・遊歩道整備	鴛鴦町上大岨（県道本地鴛鴦線沿い）の南北に通じる、家下川に蓋等の対策をして暗渠化による、通学路・遊歩道の設置希望。
57	新規	末野原	優良建築物等整備事業のさらなる支援	三河豊田駅前広場の隣接地で展開している優良建築物等整備事業の更なる推進のため、法定再開発事業並みの支援策を要望する。例えば地権者の市税等の優遇措置や助成制度の新設を要望する。
58	継続	末野原	明治用水暗渠化と上部利用及び周辺整備（鴛鴦町他）	安城台地を潤すべく明治に開削された明治用水の上部利用については、広美町の三連水車下流で公園やウォーキング道の整備が進められてきたが、末野原地域の渡刈・鴛鴦・永覚の各自治区内は整備されていない。従って、国・県に働きかけて国営矢作川総合第2期地区の計画工事の推進及び、地域要望を取り入れた上部利用及び周辺整備を要望する。

【高岡地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
59	継続	高岡	県道名古屋岡崎線・県道豊田一色線 渋滞対策 / 若林東町	この地域で交差する主要地方道路名古屋岡崎線、県道豊田一色線付近の道路渋滞が常に激しい。その結果、生活道路への車両流入が発生し近隣生活にも影響があるので対策を要望する。
60	継続	高岡	都市計画道路の事業化 / 若林西町・若林東町	地区内にある都市計画道路の早期事業化を要望する。 現在、若林駅周辺では土地区画整理事業が計画されている中で、周辺には都市計画決定されたまま一部のみ事業化で全線事業化がされていない。 将来に向けて、若林駅を中心とした拠点地区周辺での都市計画道路の全線整備は、南部地区のまちづくりに大きな効果をもたらす。 また、鉄道駅周辺は宅地等の要望が多く、安定した税収を確保するためにも生活の基盤となる道路の早期整備が重要となる。
61	継続	高岡	若林東町上り戸（六ツ辻）交差点の改良 / 若林東町	当初この交差点は、「若林駅周辺土地区画整理事業」において事業計画地区内であったが、諸事情により事業計画地区外となり、別事業として進められることとなった。 しかし、未だその計画については示されてはおらず、土地区画整理事業・三河線複線高架事業やその他周辺道路整備が進み交差点周辺の渋滞が緩和され交通の流れが良くなっても、元々この交差点は変則であるためさらに危険な交差点となることが予想されるため、周辺で進められている事業（区画整理・鉄道高架など）に合わせて、あるいはそれよりも早く交差点改良を要望する。
62	継続	高岡	若林神社前交差点改良 及び 若林花園線の拡張 / 若林西町	若林神社前交差点は、北方面からの車の多くが右折し若園地区方面に向かったり、直進先に変形交差点（六辻交差点）があったりするため渋滞が発生する。 JAの店舗もあり、近隣地区より車で人が集まるので隣接する若林駅周辺の土地区画整理事業の事業化待ちでは遅く、事故等が発生する前に対応することを要望する。 また、交差点には歩道橋もあるが子どもたちの通学路としては使われておらず、車等の視界の妨げとなっているため、撤去する必要がある、早期に整備を要望する。
63	継続	前林	都市計画道路の早期整備と周辺生活道路の安全対策	刈谷スマートインターチェンジの開通、周辺地域の流通業務施設の進出による交通量の増加が予想され、生徒・児童への安全な登下校、交通渋滞、事故率の高いエリア等、様々な影響が予想される。都市計画道路豊田刈谷線、西岡吉原線の早期着工へ向けた事業推進と、愛知県担当区間における諸課題を早期に解決し、事業進捗を図っていくことを要望する。あわせて、道路完成までの期間に対しても、周辺生活道路の安全対策を要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
64	継続	前林	名古屋岡崎線堤本町本地交差点の改良	県道56（平針街道）と県道284（知立宮上線）が交差する堤本町本地交差点は、近くに大規模工場があり、その周辺には多くの流通業務施設が立地され、通勤時間帯には激しい渋滞が発生し終日交通量も多い。県においても、渋滞箇所としての認識がされており、令和3年度に県議会議員から、愛知県へ交差点改良の要望を提出している。交差点北東角のガソリンスタンドが令和3年8月に閉鎖となり跡地利用も未定と確認している。渋滞を避けるため通学路へ進入する車も多く、右折レーン新設の交差点改良を要望する。
65	継続	前林	高岡ふれあいバスの利便性の向上	ふれあいバス運営協議会で議論されているダイヤ・ルートの見直しにより利便性を高め、地域の全体最適を図り、ふれあい高岡②路線知立～上丘間の土橋駅までの延伸を要望する。
66	継続	前林	市街化調整区域地区計画・民間施設の跡地を活用した商業施設の立地への協力	前林地域は、平坦な農地を利用した農業と大規模工場を有する工業を併せ持つ地域で、大半を市街化調整区域が占めている。そのため、一定規模の暮らしに関連する生鮮食品店舗・ドラッグストアが進出できない状態にあり、一方で、流通業務施設等については、関連法に沿って数多く進出している状態にある。地域から長年にわたり強く要望している、生鮮食品店舗等の商業施設について、数年後閉鎖予定の民間施設跡地を活用した立地を要望する。あわせて、市街化調整区域地区計画を利用した商業施設の立地についても要望する。
67	新規	前林	本地池埋立て後の跡地活用への協力	自然災害等対策ため池整備事業において、本地池が令和3～4年度にかけて埋立てによる整備事業が実施予定となっている。ただ、事業実施後における跡地の利用方法が未定の状況であり、地域広場等への利用も含めて、有効的な跡地活用策の検討を要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
68	継続	竜神	トヨタ上郷工場南側の市道の拡幅（市道竹下和会線）	豊田工業高校の生徒が通学路として使用しているトヨタ自動車(株)上郷工場南側の市道（市道竹下和会線）は、道路幅が狭いにもかかわらず、近年通過交通が増加の傾向にあり、非常に危険な状態にある。道路幅を拡幅し、通学で使用する自転車が安心して利用できるスペースの確保を要望する。
69	継続	竜神	名鉄三河線竹村駅の利便性の向上と踏切の渋滞対策	現在竹村駅は、駅前のスペースも少なく、特に雨天時には、送迎の車の出入りで、その混雑は大変危険な状態となっている。名鉄三河線の複線化に併せて、乗降客の利便性の向上と安全対策、そして踏切の渋滞対策を要望する。
70	継続	竜神	竹村小学校区の公共交通機関の空白地域の解消	竹村小学校区は、名鉄三河線竹村駅はあるものの、公共交通機関の空白地がある。高齢化により運転免許証を返納する高齢者が増加する中で、病院や商業施設に通う自家用車に代わる日常的な足を確保する必要がある。地域バスや、デマンド交通など多様な制度を活用した、公共交通システムの導入を要望する。
71	継続	若園	(都) 西岡吉原線道路の整備事業	現在、名鉄高架事業に関連して中根町小沢までの道路整備が進められている。その先にある中根町地内の名鉄三河線踏切～吉原町地内（4-2工区）までの都市計画道路である西岡吉原線の道路整備に向けて、早期事業化を要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
72	新規	若園	吉原町下細池地内の交差点及び信号機設置	伊勢湾岸道と県道名古屋岡崎線が交差する箇所での事故が多発している。カーブで見通しが悪い上、車のスピードも出ているため、信号設置の検討を含め、安全対策を要望する。
73	新規	若園	若園運動広場のナイター用照明設備設置	冬場は暗くなるのが早く、利用時間内であってもスポーツ（特に野球）ができないことがある。運動広場利用者からも要望が出ているため、照明設備の設置を要望する。
74	新規	若園	花園土地区画整理内の公園整備事業	花園土地区画整理事業内の1号街区公園の親水護岸工事について、花園町まちづくり協議会にて検討した”水辺の植物と共生できる”テーマでの工事の仕様を要望する。
75	新規	若園	花園町若石山地内の排水路改善事業	花園町若石山地内の住宅地において降雨時期の排水状態が悪く、側溝から雨水が溢れ浸水する状況がある。単発的な改善では対応が追いつかず、広域での排水工事を行う必要があることから、早期に対応を要望する。

【猿投地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
76	継続	猿投	加納～西中山の道路拡幅(市道落合向山線)	本事業は平成29年度に事業着手し、用地買収率99%で、令和元年度に工事着手し整備が行われている。沿線には高齢者施設、猿投の楽園が立地するとともに大規模開発の計画が進みつつあり、早期の整備が必要である。引き続き事業進捗を図り、早期の工事完了を要望する。
77	継続	猿投	国道419号の4車線化事業	本路線は、豊田市中心部と瑞浪市を結ぶ幹線道路であり、近年朝夕には与茂田交差点～亀首児童交差点が渋滞している。現在、四郷区画整理事業に合わせ順次整備することの聞いているが、引き続き愛知県に対し早期事業化を求める要望書の提出を要望する。
78	継続	猿投	地域の文化財を生かしたまちづくり事業の推進	猿投神社周辺には、平成29年に旧龍性院庭園が国の文化財指定を受け、平成29年～30年で保存活用計画がまとめられた。また令和元年に山中観音堂の文化財指定、令和3年1月に山中観音堂千手観音が県文化財に指定された。今後、これらの地域文化財を生かしたまちづくり事業が求められ、早期に整備構想をまとめるとともに事業着手することを要望する。
79	新規	猿投	(仮)水辺ふれあいプラザ整備事業	本事業は、子どもたちの水辺の遊び場と環境学習の場として亀首町地内の籠川に計画された。平成20年に用地取得を終えるも、リーマンの影響もあり整備が凍結され、この間、地元により草刈りなど管理されてきた。令和元・2年と土砂搬入工事と共に愛知県と最終の整備計画案がまとめられたと聞いており、今後の早期整備完了を要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
80	継続	猿投台	勘八公園・前田公園整備推進	勘八公園は昭和57年に都市公園と位置付けられてが事業がストップしている。また、前田公園周辺は宅地開発も進み、人口も増加しており、市民広場条例の位置付けから都市公園と位置付け、公園としての機能を高めてほしい。これにより民芸館、民芸の森との連携強化により集客が期待できる。特に勘八公園については、ボランティアの皆さんが長年、竹林等の整備をされ、第9次総合計画に位置付けを要望する。
81	継続	猿投台	矢作緑地平戸橋周辺整備事業	平戸橋から荒井周辺までの矢作川周辺右岸について一体性を持たせた緑地公園として整備する。猿投台地域会議では、まちづくりビジョンを策定し、地域が主体となって河川敷の整備活動を展開している。行政任せではなく、まさに共働の精神に基づいた市民活動を展開している。河川管理者は愛知県であり、事業をする上での占有許可など煩雑な事務処理も多いので市として公園の位置付けをすれば、住民の皆さんの活動が容易になる。
82	新規	猿投台	平戸橋公園・前田公園さくら整備事業	両公園は桜の名所として市民に定着をしている。特に平戸橋公園は、毎年桜まつりを開催し、多くの市民が訪れている。公園の売りである桜は劣化しており、何十年後には桜が存在しないことが危惧され、今のうちから整備（植樹等）すべきであり、早急な整備計画を策定すべきである。現在、管理は民芸館であり、平戸橋公園規模であれば、市の公園担当部局が考えるべきである。
83	継続	猿投台	名鉄越戸駅の周辺整備及びバリアフリー対策推進	北バイパス事業に合わせて、計画的に整備をするよう要望する。同地区は都市計画決定をされており迅速な、対応を望む。あわせて、高齢社会に対応するため越戸駅にエレベーターの設置を要望する。地域も昨年、3000名以上の皆さんが設置要望を市長に提出している。
84	新規	猿投台	越戸こども園・透成こども園環境整備	保育におけるこども園の環境整備は、保護者の皆さんに対して安全・安心な保育を提供する上で欠かすことができない。まず、越戸こども園は駐車場の整備拡充が必要である。過去から駐車場の拡充はしてきているが、十分な数に達していない。透成こども園は、多目的スペースが十分でなく、例えば学芸会などの運営は苦慮しており、増改築により確保することを要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
85	新規	浄水	安心・安全なまちづくりに向けた防犯、防災機能の強化	浄水地区の区画整理事業により人口が急増する中で、地域の治安維持のため、交番設置が長年求められている。あわせて、安心安全なまちづくりに向けた防災機能の強化が求められており、現在、消防団第1分団第3部（梅坪台地区）の人員強化が進む中、浄水地区に消防団格納庫の新設を要望する。
86	新規	浄水	浄水北小学校に隣接する伊保川護岸整備	浄水北小学校敷地内において、地域と学校が共働して、学校林である里山を整備し、地域住民が憩える場所として、伊保川までの遊歩道と親水空間の広場を整備している。整備した親水広場においては、河川護岸が崩壊しており、河川水面との高低差があることなど、課題となっている。河川護岸の修復・整備に伴う、河川水面と親水広場の高低差を解消するための整備を要望する。
87	継続	井郷	都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し早期整備・早期開通 ①（都）猿投学校通り線 ② 国道419号4車線化	（都）猿投学校通り線の早期実現を最優先事項として要望する。
88	継続	井郷	布袋池（猿投運動公園内）と水無瀬川の親水公園整備	昨年に引き続き、水と緑のまちづくりのために布袋池（猿投運動公園内）と水無瀬川の水質保全確保と近自然化工法などによる水辺・親水公園化整備とそのための水源確保を要望する。
89	継続	井郷	豊田市運動公園までの名鉄延伸とパークアンドライド用駐車場の用地確保と整備、および旧名鉄路線式を活用した山間地への鉄道構想の取り組み	豊田市運動公園までの名鉄延伸とパークアンドライド用駐車場の用地確保と整備 猿投駅は北の玄関鉄道駅として位置付けられているが、現在はアクセス道路が全く無く整備されていない。その改善策と運動公園利用者を増やすためにも、名鉄の運動公園までの延伸と、パークアンドライド用駐車場の整備（駐車場用地の早期取得）、また豊田市に移管された線路敷地の利活用により鉄道による山村振興、観光資源の再建に資する取り組むべきことを切に要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
90	継続	石野	通学路の歩道の設置(自転車共用)	通学路の歩道の設置(自転車共用) 国道153号の勘八町勘八交差点からカ石インター東交差点までの歩道整備、秋には香嵐溪方面への渋滞箇所で大変危険である。地域の子供たちの命を守るための早急な整備を要望する。
91	継続	石野	石野中学校への進入道路の確保	石野中学校は、緊急時に市民の避難所として指定されているが、国道153号からの正門進入路に限られているため、災害により進入路が絶たれた場合にも避難所の安全確保と地域住民の命を守る整備を強く要望する。
92	継続	保見	市道事業化・早期着工 伊保貝津線の延伸 伊保町～保見町	現在、県道足助線(県道58号)が毎日、朝夕渋滞するため、地域住民の生活に影響が出ている状況である。また、伊保町にあるトヨタ紡織が工場の増設をし、従業員が数千人増え、工場に出入するトラック等も増える予定である。市道整備により、県道足助線の渋滞緩和と歩車分離が進み、地域住民及び通学児童生徒の安全確保ができる。市道、伊保貝津線の伊保町から保見町までの延伸整備を要望する。
93	継続	保見	都市計画道路国道155号線及び構想区間の早期事業化 国道155線のバイパス化 保見町～八草町	現在の国道155号は本市の緊急輸送道路に位置付けられているが、過去には、豪雨により道路が崩壊し、通行止めも生じている。また、当該路線は市外からの流入が多く、渋滞が発生している。 今後の安心・安全なまちづくりを進めていく上で、移動の円滑化、災害対応機能の確保を図っていく必要があることから、都市計画道路国道155号線と大井橋以北のバイパス構想区間の早期事業化を要望する。

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
94	継続	保見	都市計画道路区間の早期事業化・早期着工 県道豊田知立線 田糶～三好ヶ丘 名古屋豊田線 田糶～亀首	地域内にある都市計画道路の早期事業化を要望する。理由①国道155号及び県道足助線の交通量の増大から慢性的渋滞の解消と児童生徒を交通事故から守るため。理由②広域交流・都市間交流を支える道路である155号が片側1車線であり、日常的に渋滞が発生している。隣接する長久手市、日進市、瀬戸市から通勤者の車が流入している。また企業誘致の面からも交通事情が改善されなければ誘致が難しい状況である。市が進める経済都市の成長と安心安全な街づくりのためには早期事業化が重要である。
95	新規	保見	八草町土地区画整理事業	保見地区の発展には八草町の土地区画整理事業の実現が必須であり、豊田市の北の玄関口として、また来年度仮オープンするジブリパークの隣接地として、しっかりと開発を行うことが必要である。豊田市の人口動向は減少に転じており、かつ子育て世代の転出が増加している。豊田市住宅マスタープランでは34%弱の方が住宅購入時に検討希望するのは、駅近くの宅地と答えている。八草駅周辺は交通の結節点であり、利便性の高い街であり、近くには大学、高等学校も多くあり文教地区でもある。この地区を開発する意義は大きく、意味あるものであると推察でき要望する。
96	新規	保見	保見地区南部における市街化調整区域内地区計画制度を活用した定住施策の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点地域核である浄水駅周辺は、土地区画整理事業による市街地整備により、居住、都市機能及び生活機能の集積が進み、大きく発展している。 ・本市における旺盛な宅地需要に応えるとともに、超高齢社会や将来の人口減少に備えたコンパクトな市街地を形成するためには、浄水駅周辺のような生活利便性が高い地区周辺において、更なる定住施策の促進を図る必要があると認識している。 ・その実現に向け、浄水駅周辺において市街化調整区域内地区計画制度の対象外となっている緑の外環保全区域に関する緩和を要望する。

【藤岡地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
97	新規	藤岡	藤岡支所周辺道路拡幅	<p>藤岡北部及び小原地区西部と市街地を結ぶ道路として県道北一色東広瀬線が利用され、その途中まで片側一車線整備が完了しているものの、途中から幅員が狭小となっている。本県道は瀬戸市から豊田市への通勤の利用も多い。</p> <p>しかし、藤岡飯野町地内の道路が狭隘となっているため、車のすれ違いに苦勞があり、通勤時には支所一帯で渋滞が起こり、子どもの通学にも危険を伴う状況である。</p> <p>狭隘部分から支所周辺まで接続する市道の拡幅を要望する。</p> <p>関連市道：60327 藤岡飯野駄知線</p>
98	新規	藤岡	藤岡木瀬瀬戸線道路拡幅	<p>藤岡木瀬瀬戸線は、藤岡北部や瀬戸市と、藤岡東部や小原地区を結ぶ道路として、多くの人々が利用をしている。</p> <p>また、藤岡地区の上水道の基幹施設である、石飛配水場も本市道を利用して送水・管理をされている。</p> <p>しかし、道路途中から狭隘となっており、一部舗装がされていない区間もある。</p> <p>道路拡幅及び路面舗装を要望する。</p> <p>関連市道：60108 藤岡木瀬瀬戸線</p>
99	新規	藤岡	新設市道の整備（北一色～迫）	<p>藤岡北部及び小原地区西部と市街地を結ぶ道路として県道北一色東広瀬線が利用され、その途中まで片側一車線整備が完了しているものの、途中から幅員が狭小となっている。本県道は瀬戸市から豊田市への通勤の利用も多い。</p> <p>しかし、多くの車両は国道419号を利用し、藤岡南部や豊田市街地に移動をするため、道路狭隘部分で渋滞がある。</p> <p>幅員の広い市道の新設を要望する。</p> <p>関連市道：60111 藤岡北一色迫線 60116 藤岡飯野迫線</p>

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
100	継続	藤岡	藤岡地域核エリア整備	支所・交流館を中心とした藤岡地域核エリアの整備について、都市再生整備計画が令和2年を最終年度として終了するが、令和3年以降の藤岡地域核整備に向けての予算計画はない。飲食店など商業店舗が減少を続け、子育て世代が他地区へ移り、人口減少、高齢化が進む中、支所及び交流館が整備されたこの時期に、藤岡地区として日常生活を支えるために必要な生活機能を整理し、地域核及び居住促進地区としてのビジョンを示す計画の策定を要望する。
101	新規	藤岡	屋敷川および飯野川浚渫	折平町及び上渡合町地内を流れる、屋敷川とその下流の飯野川（県管理）は流域内に堆積した土砂が多く、また一部で狭隘となっているため、大雨の時には護岸上部まで水位が上昇し、危険を感じる。 また、一部では護岸の裏の土砂が流れ出しており、崩れる危険がある。 両河川の浚渫と護岸修繕を要望する。
102	継続	藤岡南	国道419号バイパスの早期着工	国道419号西中山地内の渋滞緩和のため、早期着工を要望する。令和元年8月24日国道419号4車線化整備促進期成同盟会を設立（4月26日総会において次期事業化箇所は東海自動車道豊田藤岡インター西のロータリーから現道419号までと決定した。今後、本庁に要望）
103	継続	藤岡南	国道419号辻貝戸交差点改良	小学校児童の通学時の安全確保をするため、早期に歩行者専用の信号設置を要望する。
104	継続	藤岡南	国道419号深見常楽交差点（西側）歩道設置	小中学校の通学路の安全確保のため早期設置を要望する。
105	継続	藤岡南	県道北一色東広瀬線田茂平地区歩道・横断歩道設置	歩行者の安全確保するため、早期の改良を要望する。 （令和3年4月21日愛知県豊田加茂建設事務所森道路整備課長と伊藤課長補佐、三宅田茂平自治区長始め役員、鈴木県議と現地視察をした。）

【小原地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
106	継続	小原	市道築平川下線の改良／築平・川下町	本路線は、小原、旭、足助地区の地域核を結ぶ重要路線を構成するとともに、近年は地区間の観光拠点を結ぶ観光バス路線として重要性が高まっている。観光シーズンにおける観光バスの通行を考慮し、地域住民の車両と安全に交互通行できる道路改良を要望する。
107	継続	小原	国道419号和紙のふるさと入口の交差点改良／永太郎町	国道419号と市道との取り付けが不整形であることと、観光施設である和紙のふるさとと小・中学校が隣接していることから、観光客の車と児童、生徒及び一般車両が交差することになる。また、通過車両の速度も速く危険な状況であることから、早期に交差点の改良を要望する。
108	継続	小原	四季の回廊整備事業の促進／川見町他	四季の回廊ミュージアム構想は、地域資源を活かした観光交流拠点施設の整備事業であり、地区の活性化に欠かせない。川見四季桜の里の拡充整備など、第8次総合計画に掲載されている拠点施設の整備促進とともに、大雨等による自然災害に備えた対策や継続的な景観保全の仕組みづくりを要望する。
109	継続	小原	市有財産を活用した住宅、宅地整備／永太郎町、小原町	おいでん・さんそんプランに基づき、旧老人憩いの家や平成29年度に取壊された小原郷土館など、未利用な市有財産を活用し、移住、定住の促進を図るため、住居、宅地の整備を要望する。
110	新規	小原	和紙のふるさとの国際化への取組／永太郎町	豊田国際紙フォーラムの開催を契機に、本市の文化・産業の振興や国際交流に寄与し、将来にわたる豊田小原和紙の継承・発展につなげる取組を要望する。

【足助地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
111	新規	足助	香嵐溪100年プロジェクトの推進	令和6年に整備後100年を迎える香嵐溪飯盛山のモミジ類の生育環境の悪化や樹勢の衰えが懸念されることから、景観の質の維持、向上を図る整備を推進すること。併せて100年先まで景勝地として継承されるための仕組づくりを地域と共に構築すること。また、香嵐溪の巴川河川区域における利用者が増え、観光地としての環境や景観の悪化が見られるため対策を検討すること。
112	継続	足助	足助地域核エリア再生事業	平成30年度に始まった本事業により、持続可能な山村地域への転換を目指し、足助地域核エリアを中心に、空き家等を活用した事業創出やまちづくりの担い手の確保に取り組んでいる。本事業を確実に進め、足助地域核に生活機能を維持し、地域を活性化させる上で重要な拠点として再生させることを要望する。
113	継続	足助	山村地域を守る交通システム整備事業	急激な人口減少や後期高齢者の増加、地域バスの乗務員不足が続く山村地域に適応した持続可能な交通システムの確立を要望する。地域の生活に欠かせない移動手段を、多様な手段で確保することで、高齢者等交通弱者の自立した生活の支援と積極的な社会参加につなげ、山村地域で暮らすあらゆる人の健康づくりと住み慣れた地域での快適な暮らしを実現する。
114	継続	足助	新盛里山耕第2期計画の早期着工と拠点施設「道の駅」建設	新盛里山耕は「里山くらし体験館一すげの里一」を拠点施設として「里山耕流塾」など都市と農山村の交流事業を展開している。平成19年に策定された山村活性化事業「里山耕」基本計画では、第2期拠点施設の建設が計画されているが、リーマンショック等の影響で実現に至っていないことから早期の計画実現を要望する。
115	継続	足助	公共施設跡地等の未利用地の有効活用	足助バイパス残土捨て場（富岡町）や老人ホーム跡地（近岡町）、足助保健所跡地（親王町）を始めとした公共施設跡地等の未利用地の有効活用が様々な要因で進捗していない。地域にとって有意義な活用方法の早期立案を要望する。

【下山地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
116	新規	下山	市道下山上根引勘松線と国道301号線の接続地点の道幅の拡充	市道下山上根引勘松線は、住民の生活道路になっており、国道に進入する際に停止していると道幅が狭く、国道からの侵入ができなくなっている。テクニカルセンター下山の稼働に伴い国道301の交通量も増えており、渋滞を招く。そのため市道の接続付近がすれ違いできるように道路幅を広げる必要があり要望する。
117	継続	下山	三河湖左岸道路の整備/羽布町	三河湖左岸道路、下山ニタ瀬草木線の未舗装区間の舗装整備。当区間においては、昭和30年代から砂防堤等の治山工事が行われており舗装ができなかったが、治山工事も終わり当区間のアスファルト舗装は、現在作成しているしもやま観光プランの、スポーツツーリズムの核となる三河湖の観光の要であり、下山地区の観光には、必要不可欠であることから要望する。
118	継続	下山	三河湖観光センターの建て替え/羽布町	三河湖観光センターは、下山の観光の核となる施設であるが、老朽化しバリアフリーもされておらず、浄化槽も合併処理浄化槽にもなっておらず早期の建て替えが必要であるため要望する。
119	新規	下山	デマンドバスの土日の運行	基幹バスは、大沼地区で止まっており、土日に観光地の三河湖周辺に、公共交通機関で行くことができず、観光客の集客にも影響が出ていると考える。また、子どもや免許を返納したお年寄りも移動手段が無く不便している状況から要望する。
120	継続	下山	トヨタ自動車研究施設の本格稼働に伴う宅地整備	トヨタ自動車研究施設の本格稼働に伴い3500人の従業員が働くことになる。地域の人口減少に歯止めをかけるためにも従業員を呼び込む下山地区を中心とした住宅用地の整備を要望する。

【旭地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
121	継続	旭	第2次まちづくり計画に基づいた中心市街地の再構築	人口減少が続く旭地区において、商業・医療の中心である小渡町地区では、夢かけ風鈴事業や花の里の拠点化などに取り組み、観光まちづくりで活性化を図っているところだが、閉店する店も増えてきており、更なる活性化策が求められる。今年度から運用が始まった「第2次旭地区まちづくり計画」に基づき、生活道路や環境を整備し、安心して暮らし続けられるまちづくりを推進する必要がある。
122	継続	旭	観光における旭高原自然活用村（元気村）の拠点化の推進	新型コロナの出口戦略も踏まえ、地域経済を活性化させるために観光業等の振興を図る必要がある。旭高原自然活用村（元気村）は観光拠点施設として認知されているが、施設が老朽化して利用者が減少傾向にある。 施設の再整備も含め観光資源の活用による更なる活性化を図ることを要望する。
123	新規	旭	定住対策の促進	旭地域内の市営住宅について、モデル的に柔軟な対応を提案していただいているところであるが、空き家バンクのほかに市営住宅も活用が促進されれば、選択肢が増え、更なる定住対策の促進が図られると期待している。これらを通じて未利用物件の活用促進を図るとともに、併せて、現在使用が制限されている住宅についての活用の検討についても要望する。
124	継続	旭	榊野広場埋め立て後の有効活用	国土交通省中部整備局矢作ダム管理所が、堆砂の搬入・埋立作業を進めているが、令和4年度頃に埋立て完了の見込みである。現場は市有地でもあることから、防災拠点整備など、安全安心の観点や、地域活性化の観点から、市としての活用提案を要望する。

【稲武地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
125	継続	稲武	雇用と定住をセットとした施策の展開	<p>※人口減少に歯止めがかからぬ中、若年人口の減少は深刻で、近い将来、担い手不足による地域力の更なる低下が懸念される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用環境が厳しいため、「定住」と「雇用」をセットとしたI・U・Jターン施策の展開を要望する。 ・特に「雇用」面では、稲武の地域資源やまちの特性に着目した、サテライトオフィスやワーケーション事業の展開、木質バイオマス（木の駅プロジェクト）活用、6次産業化関連企業誘致を軸とした取組の展開を要望する。 ・更に、コロナ禍におけるライフスタイルの変化を捉え、都市と自然を往住する二拠点生活（の促進による関係人口や定住者の増加を狙い、菜園付貸別荘エリア（ダーチャ村）の整備を要望する。
126	新規	稲武	養蚕製糸文化伝承事業の確実な推進	<p>※伊勢神宮献糸や大嘗祭「繪服（にぎたえ）」に使われる伝統ある稲武地区の「赤引糸」を大切な財産と位置付け、養蚕製糸の普及・振興をすることにより、地域の活性化につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の担い手である「まゆっこクラブ」の後継者育成と持続可能な運営のための支援を要望する。 ・旧田口高校の跡地利用を視野に入れた、養蚕製糸事業の産業化の検討を要望する。
127	新規	稲武	「自然エネルギーゾーン」の位置付けと先進施設整備	<p>※稲武地区は、中部電力の揚水発電所、市管理の面ノ木風力発電施設、大井平公園小水力発電施設、自治区が導入主体となった小水力発電施設が設置されており、民・官による、再生可能エネルギー利活用の先進地区となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲武地区を再生可能エネルギー利活用先進地区である「自然エネルギーゾーン」として明確に位置付け、民の取組を促進するモデル施策の展開を要望する。 ・加えて、再生可能エネルギー学習の場として国内外から多くの来訪者を呼び込むため、地域が包蔵する木材に着目し、木質バイオマス活用を検討して、先進施策の見える化の実現を要望する。
128	新規	稲武	風水害時における避難所の早急な確保	<p>※小田木、押山自治区における市指定避難所が、水防法の改正等により、風水害時に利用できない状況にあり、早急な改善が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記2自治区の現状の市指定避難所の風水害時の利用可能性の再検討と、代替避難所の指定、又は一時避難場所の設定支援を早急にするよう要望する。
129	新規	稲武	稲武地区における幼保小中高一貫校の調査・研究	<p>※コロナ禍において生活様式が変容するなか、豊かな自然環境において柔軟かつ効果的な教育システムを備えた幼保小中高一貫校を稲武地区に開校することが、今後の稲武地区の地域振興に大きく寄与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲武地区における幼保小中高一貫校の開校における可能性について市関係組織での調査・研究を要望する。